

令和5年度 第2回太田市公共工事入札等監視委員会 委員コメント

○小川委員長

今回は、令和5年度の上半期の入札契約状況の概況と、内容審査2件の審議を行いました。市内業者優先の条件付き一般競争入札で落札者が確保できる太田市の状況というのは、他の市町村に比べて恵まれていると思います。地方公共団体の収支も地域の活性に支えられていますので、引き続き、市民サービスと市内企業育成との間で適切なバランスを心掛けていただければと思います。

長らく委員を務めさせていただきましたが今期を最後にいたします。公共工事の入札についての適正を維持するため、今後も広く市民の皆様に関心をもっていただけることを願います。

○大谷副委員長

令和5年度の上半期入札については、大規模工事やまれな高度技術の設計施工によるもの、特殊な数少ないローラーボード場等の複雑なものも多く、市内業者のみでは施工しきれないものはありましたが、おおむね良好な入札ができていたと思います。

全社入札辞退や再入札、随意契約等においても説明がきちんとできていると感じました。今後も適正な継続した入札等をお願いします。

○大島委員

今回の委員会においては、令和5年度上半期の入札・契約状況についての報告を受けました。令和4年度上半期と比べ、予定価格や加重平均落札率が大幅に変動した理由（令和4年に太田市清掃センター解体撤去工事案件があったため）、そして令和5年度上半期の契約件数と請負金額が増加した要因を詳細な資料と共に説明を受け、理解致しました。

続いて、最終的に指名競争入札となった（仮称）太田市スケートパーク本体整備工事、随意契約となった太田市精米センター倉庫改築工事における契約の経緯を事細かに説明いただき、内容を審査しました。規模が大きく特殊な工事案件については、慎重に慎重を重ねて業者を選定していることを改めて認識し、確認しました。

公正公平な入札制度を維持するには、大変な尽力を必要とします。入札を経て契約となり実となった公共工事が、今後の地域の発展、住民の暮らしやすさや幸福に繋がっていくことを切に願っています。

○湯澤委員

今回は、令和5年度の「上半期の入札・契約状況の報告並びに入札契約の内容（2件）」についての審査を行い、適正であると思いました。

再入札により「（仮称）太田市スケートパーク整備工事」は、無事に地元業者が、契約完了したことは大変喜ばしいことであると実感しました。太田西複合拠点は、スポーツツーリズムとして、今後ますます活性化していく地域になるよう期待したい。

引き続き、多くの参加社を得て、公平性と競争性を確保しながら、適切な入札業務を推進していただきたいと思います。

○中村委員

令和5年度上半期の入札・契約状況についての説明を受けました。

今期は、太田西複合施設に続いて「（仮称）太田市スケートパーク」の整備工事があり、新田エリアの開発に期待しています。大規模で特殊な工事であること、また難易度が高い案件で業者の選定が難しかったことを理解しました。結果的に市内の業者に決まり、順調に工事が進んでいるとのことですが、条件を満たす県外業者にも興味を持ってもらえる入札契約であることも、今後の課題かと思われます。

いつも丁寧でわかりやすい説明と報告をしてくださり、良い機会をいただいております。今後も公平公正な体制を続けられますことを、お願いいたします。

○委員会総括（事務局）

各委員からは、今委員会に提出された議題について、「概ね適正に執行されている」との承認をいただきました。今後も説明責任を果たしながら、公平公正な入札契約事務に努めて参ります。